

【 大会特別規定 】

令和7年6月28日
岩手県KB野球連盟

- 1 使用できるバットについて
軟式用、硬式用、ローバウンドボール用の金属又は木製・竹製バットを使用する。複合バットやカーボン素材(炭素繊維強化プラスチック)などの高性能高反発バットは使用できない。
- 2 イニングおよび試合時間の制限について
 - (1) 全試合7イニング(又は100分)を超えて新しいイニングに入らない。
 - (2) 得点差によるコールドゲームを適用する。4回(3回1/2含む)以降10点差、5回(4回1/2含む)以降7点差とする。
 - (3) 暗黒、降雨によるコールドゲームは、試合成立を5回または上記(2)の得点差とする。
 - (4) 決勝トーナメントおよび決勝リーグは、8回から0死満塁から特別延長戦を行う。特別延長戦の打順は監督が指定する(指定された打者の前の3人が順次ランナーとなる。)。以後継続打順で行う。
 - (5) 暗黒、降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以前に中止になった場合はサスペンデットゲーム(一時停止試合)とし、翌日の第1試合に先だって特別続行試合を行う。5回を過ぎている場合は試合成立となる。同点の場合はサスペンデットゲームとなる。
 - (6) 天候等(降雨・雷など)によって、試合の進行を中断することがある。
- 3 タイムの回数制限について
 - (1) 守備側が選手2人以上集まるタイムは1試合に3回までとする。延長戦は1イニングに1回とする。
 - (2) 攻撃側のタイムは1試合に3回までとする。延長戦は1イニングに1回とする。
 - (3) 監督が投手のところへ行く回数は1試合で3回までとする。延長戦は1イニングに1回とする。
- 4 臨時代走について
 - (1) 塁上の走者が負傷した場合で、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断したときは、臨時代走の処置を行うことができる。
 - (2) 打者が頭部へヒット・バイ・ピッチを受けたときには、その程度を問わず臨時代走の処置を行う。
 - (3) 臨時代走者は、投手を除く打順前位の者とする。
- 5 投手の交代について
公認野球規則5.10(d)【原注】(投手は1イニングに投手以外の守備に2度以上つくことは許されない。)は適用しない。
- 6 監督・コーチについて
 - (1) ユニフォームを着用する。
 - (2) コーチボックスに立つ場合はヘルメットを着用する。
 - (3) 監督が不在(緊急の用事等)の時は、事前に大会本部と対戦チームの了承を得た上で、コーチが代行監督を務めることを認める。

7 公認野球規則 5.11 の指名打者ルールについて

指名打者を使うことができる。規則適用上の例を下に示す。

- (1) 投手以外に指名打者を使うことはできない。5.11(a)(1)
例：打撃が良い投手、打撃が弱い遊撃手がいた場合。投手を打順に入れて遊撃手の代わりに指名打者を打順に入れることはできない。
- (2) 試合開始の時点で指名打者を指名しない場合は、試合の途中から指名打者を使うことはできない。5.11(a)(3)
- (3) 指名打者の役割が消滅する場合。(その後、その試合では指名打者を使えない。)
 - ・投手が他の守備位置につく。5.11(a)(8)
 - ・投手が指名打者の代打・代走をおこなう。5.11(a)(10)
 - ・指名打者が守備位置につく。5.11(a)(12)
 - ・他の守備位置の選手が投手になる。5.11(a)(14)
- (4) 投手に代わる打者を指名する義務はない。先発投手自身が打つ場合は、別々の2人として考えることができる。(いわゆる“大谷ルール”のこと。) この場合、監督は自分のチームの打順表に10人のプレーヤーを記載し、このプレーヤーにおいて、1つは先発投手、もう1つは指名打者として2度同じ名前を記載する。5.11(b)

8 ストライクゾーンについて

ストライクは打者が打てるボール(外角と高めを広めに)を「ストライク」と判定する。

9 一次リーグにおける選手の全員出場ルールについて

- (1) 「選手の全員出場」は、「登録選手が出場の機会を得ることで、大会を通して楽しい野球を体感できるようにする」ことを目的とする。したがって、一次リーグ開催期間中の試合に、登録選手全員が最低一度は出場すること。
- (2) 出場の解釈について
 - (ア) 打者の場合は、カウント0B-0Sから出場し、当該選手の打席が完了するまでとする。
 - (イ) 守備(投手をふくむ)の場合は、インニングの最初からそのインニングが完了するまでとする。
 - (ウ) 代走のみの場合は出場とみなさない。
- (3) 負傷、体調不良等により出場が困難と判断される場合は、事前(打順表交換や試合中)に担当審判員に申告すること。
- (4) 各チームは、一次リーグ開催期間中の試合において、試合続行不可能とならないように配慮すること。

10 リエントリー制について(今年度新設)

- (1) 先発9名に限り、一度交代してから再び一度だけ試合に戻ることができる。
- (2) 選手は元の打順に戻る。複数の交代選手が使われる場合でも、交代した先発選手の打順を変更することのないように注意をすること。
- (3) 投手が他の選手と交代してベンチに下がった場合は、再び投手として戻ることはできない。ただし、野手に戻ることはできる。

11 規則適用上で疑義が生じた場合について

規則適用上の疑義に対しては、当事者と監督が直接質問することができる。